

## 4 - 4 森 - 御前崎間の重力変化

### Change of Gravity in the Region between Mori and Omaezaki

京都大学 理 学 部

東京大学 地震研究所

Faculty of Science, Kyoto University

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

森 - 御前崎間の重力の精密測定は、1970年9月から現在までの間に既に6回行われている。各回とも測定は複数の La Coste 重力計によるもので、測定の年月はつぎのとおりである。

第1回	1970年	9月
第2回	1973年	3月
第3回	1977年	9月
第4回	1978年	9月
第5回	1979年	11月
第6回	1980年	3月

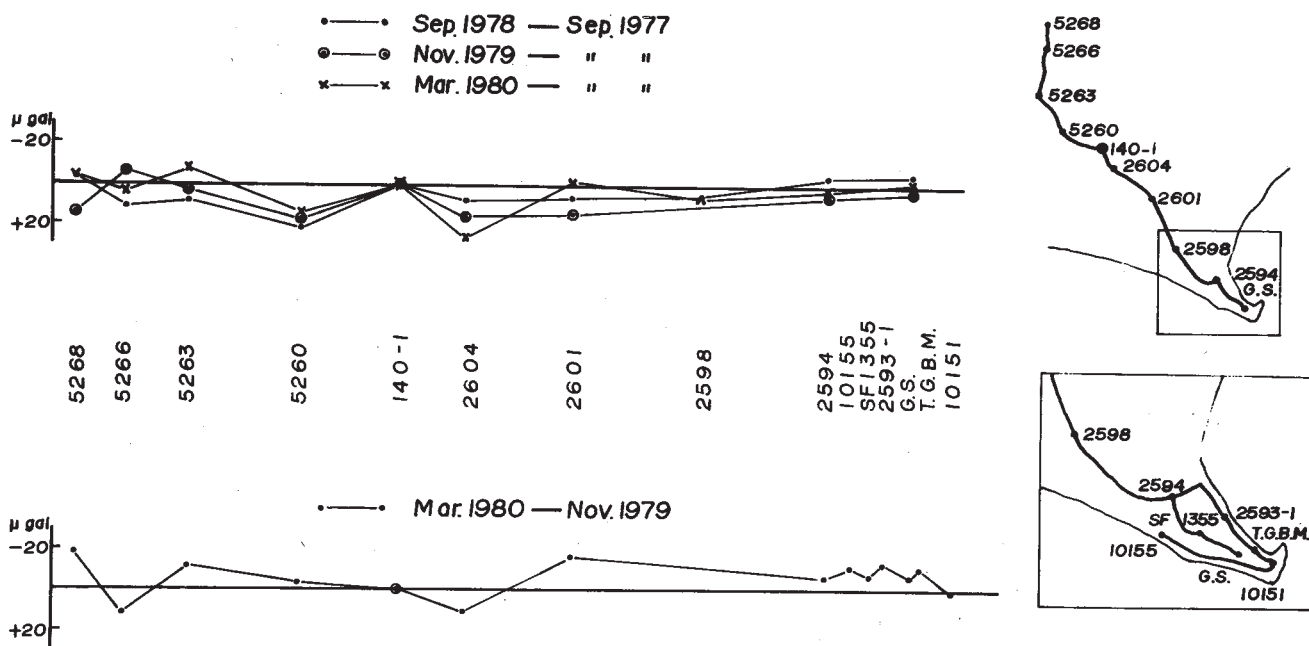
第1回から第4回までの測定結果については既に報告している<sup>1)~4)</sup>、それらといくぶん重複することになるが、今回は第3回の測定値を基準としたその後の重力変化について報告する。

第1図の右上の部分に、重力測定を行った水準点の番号と位置を示している。御前崎先端部をさらに詳細に調査するため、第5回測定からは測点の数を増やしたので、それを右下の部分に示している。図の左上のグラフは、掛川の水準点(140-1)の重力値を不変と仮定して、1977年9月以降の各測点の重力値の変化を示したものであり、左下のグラフは、同じく掛川の水準点(140-1)の重力値を不変とし、新測点を含めて、1979年11月から1980年3月までの約4ヵ月の重力値の変化を示したものである。

これらのグラフを概観すると、系統的な変化があるようにも見えるが、重力測定の精度が $\pm 20 \mu\text{gal}$ 程度であることを考慮すると、有意の変化があったと断定することは困難である。

### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院他：東海・近畿地方における精密重力測量，測地学会誌，17(1971)，22 - 37.
- 2) 田島広一：地震および地殻変動に伴なう重力変化，地震研究所彙報，50(1975)，209 - 272.
- 3) 東海地方の重力変化研究グループ：東海地方の重力変化，連絡会報，19(1978)，99 - 100.
- 4) 東海地方の重力変化研究グループ：東海地方の重力変化(第2報)，連絡会報，21(1979)，97 - 98.



第1図 森-御前崎間の重力変化。⊙印の水準点の重力値を不変と仮定している

Fig. 1 Change of gravity in the region between Mori and Omaezaki. Gravity value at the bench mark ⊙ is assumed as invariable during the period.